

北海道港湾空港建設協会

会報

平成27年 5月

北のみなと

No.85



— 目 次 —

就任挨拶 (北海道開発局 港湾空港部長 笹島隆彦)	1
---------------------------	---

Report

北海道港湾空港建設協会 第30回通常総会開催	3
------------------------	---

第30回記念講演 (日本港湾協会名誉会長 栢原 英郎)

平成26年度 安全管理講習会	6
----------------	---

開会挨拶 (北海道港湾空港建設協会 会長 宮崎 英樹)

「港湾工事の安全対策について」

(北海道開発局港湾空港部港湾建設課 建設第2係長 工藤 博文)

「建設工事における労働災害防止について」

(北海道労働局労働基準部安全課 地方産業安全専門官 息才 正)

特別講演『心の健康』(全国健康保険協会北海道支部保健師 俵 優美)

平成26年度 港湾空港工事報告会	8
------------------	---

主催者挨拶 (北海道港湾空港建設協会 会長 宮崎 英樹)

来賓挨拶 (北海道開発局港湾空港部 港湾建設課長 伊藤 晃)

工事報告

「函館港北ふ頭地区-6.5m岸壁船尾部建設工事」(株高木組 工事長 三好 秀明)

「鷺泊港-6.0m岸壁改良その他工事」(株中田組 工事長 松川 和宏)

「苫小牧港西港区岸壁-9m改良埋立工事」(菱中建設(株) 工事長 高沢 治彦)

特別講演『漁港施設のストックマネジメントについて&水産土木チームの研究概要』

(独立行政法人 土木研究所 寒地土木研究所 水産土木チーム 三上 信雄)

講 評 (北海道港湾空港建設協会 技術委員会副委員長 宮本 義憲)

各種記事

我が社の安全衛生管理 (株山田組 安全管理部長 阿曾 清)	11
-------------------------------	----

私の趣味 『音楽』と『山楽』 (近藤工業(株) 佐藤 慶一)	13
--------------------------------	----

Topics

函館港彩る真冬の大輪・風のまち苫前で北海道風あげ大会	15
----------------------------	----

あばしりオホーツク流氷まつり	16
----------------	----

もんべつ流氷まつり	17
-----------	----

釧路港東港区耐震旅客船ターミナルに寄港した「フォーレンダム」・「にっぽん丸」	18, 19
--	--------

古平漁港水産物衛生管理施設が完成	20
------------------	----

Information

事務局だより	21
--------	----

業界だより	21
-------	----

広報委員会だより	21
----------	----



元稲府漁港は、北海道北東部、オホーツク海沿岸に位置する第4種漁港です。

元稲府漁港のある雄武町では、ホタテガイを中心とした底引き網などの沖合漁業が盛んに行われ、漁獲量全体の大半を占めています。そのほか、コンブ・ウニの採貝藻漁業やタコ漁業などの沿岸漁業も盛んに行なわれています。

また、近年はサケにも力を入れており、港内での中間育成、「メジカ」、「雄宝」のブランド化を進めています。

本漁港は、地域水産業を支える生産流通拠点として、また周辺漁場からの避難港拠点として、重要な役割を果たしています。

就任挨拶



北海道開発局 港湾空港部長 笹島隆彦

はじめに

国土交通省 北海道開発局 港湾空港部長に着任しました。

北海道港湾空港建設協会並びに会員の皆様には、北海道開発局の港湾・空港行政に対して、多大なご支援とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、就任して以来、港湾、空港を取り巻く大きな変化を痛感しており、身の引き締まる思いです。是非とも、皆様と一緒に知恵を絞り、汗をかきながら、北海道総合開発計画の実現と強靱な国土づくりに寄与していきたいと考えています。

大きな変化

人、物の交流を支えるのは、島国北海道では、青函トンネルを利用するJRとともに、全道の港湾や空港が玄関口となっています。港湾、空港を取り巻く変化としては主に以下の5点を感じています。

①北海道新幹線の開業

北海道がかつて経験したことの無い、大量高速輸送体系がいよいよ来年の3月には道内に上陸します。すでに、海外からの観光客の流れも変化の兆しが見えてきています。函館と道内の二次輸送など、空港を中心とした人流

の変化と、今後の札幌延伸を見据え何をすべきかを具体的に模索する時代になったと思います。

②インバウンド観光客の激増

ここ2年間のインバウンド観光客の増大は、全国でも報道されるほどの混雑を招いています。少なくとも2020年の東京オリンピックまでは増大するのではないかと北海道知事が掲げた300万人という目標もありますので、こうした流れを的確に捉え、しっかりと対応していくことが求められています。

③トラックや観光バスのドライバーの不足

ドライバーの労働時間問題への対応として、室蘭～宮古航路の開設の検討が進められるなど、本州と北海道を中心とした物流体系が変化していくと考えられます。また、JR、フェリー、航空との連携で観光バス不足の課題を一部でも解消するなどの工夫も必要になってくると思います。

④北極海航路

政府全体での取り組みが進む中、北海道はその地政学的な優位性と、過去の先進的な研究や調査から、全国のトップランナーとなっています。短期的に商業化される航路では無いものの、中・長期的な視点から、国内はもとより、国際的に、特にアジアにおけるプレゼンスを高める取り組みを進めたいと思います。

⑤ 4年目を迎えるHOPサービス

平成23年からスタートした、段ボール1個から道産品の輸出ができるHOPサービスも4年目を迎えています。当初より5年を目処に完成形にもっていくという目標でしたので、仕上げとともに、次のステップへ移行する段階にきていると思います。

変化への対応のカギ

港湾や空港は、ネットワーキングが重要であると考えています。特に北海道のように、広大な国土に分散して人口や生産・観光基盤などが立地する国土構造ではなおさらであると思います。道央圏を除いて各圏域はおおむね人口減になっていますが、実質総生産は増加しています。港湾や空港を取り巻く課題に対しては、ネットワーキングを常に意識しながら対応しなければなりません。

たとえば、海外からの観光客を300万人に増やす場合、新千歳空港だけで対応するのではなく、全道各地の空港で対応することで、様々な観光資源を多様な観光ルートとして提供することが可能となります。トラックドライバー不足の問題も海上と陸上輸送のネットワークの形成が必要ですし、HOPサービスも民間と官や学のネットワーキングです。

古い話ですが、昭和60年に港湾局は、長期港湾整備政策として「21世紀への港湾」を策定し、「総合的な港湾空間の創造」と「港湾相互のネットワーキングの推進」を二本柱とした港湾の整備を図っていくこととしていました。ちょうど、私は本省において、その政策のフォローに関わっていたのですが、前者の「総合的な港湾空間」は港湾再開発など全国でプロジェクトが進む中、後者の「ネットワーキングの推進」については、実際に何をするのがわかりにくい柱でした。実は、その頃から、現在に至るまで、ネットワーキングとはなんぞやと気にしています。

当時の、ネットワーキングという一般的な語源を少々引用すると、ネットワーキングとは「ある目的のためにつながっている仲間（ネットワーク）を通じた活動のこ

と」、「我々を結びつけ、活動・希望・理想の分かち合いを可能にするために、他者とのつながりを形成するプロセス」（J.リップナック+J.スタンプス、1982～1984ただし、「21世紀への港湾」ではこれを引用しているものではない）という2種類があります。複数の港湾や空港を結びつけることで、広域的でしなやかな機能を発揮できないか？地域の特性をより発揮できないかということです。

ネットワーキングを考える場合は、視点を変えるなどして、固定観念を変えることが重要であると思っています。たとえば、西日本では、主にドライバー問題からトラック輸送がフェリー等の海上輸送に急激にシフトしていっています。大阪までは山口県から470km、福岡から600km、熊本から700kmほどです。北海道内をみると、サンマの水揚げでトラック問題が顕在化した根室からは、札幌や苫小牧まで450km、函館まで700kmほどと同じような距離感です。とかく、国内の海上輸送というと、北海道と本州を考えがちですが、視点を少し変えてみると、道内輸送においてもしっかりと考えていく必要があるのではないかと思います。

さらに、ネットワーキングを考える際には、現場をしっかりと把握して、現場に教わることを忘れてはいけません。港湾や空港の的確な政策は、質の高い「現場力」が無ければできないと思っています。現場を担っている貴協会並びに会員の皆様とのネットワーキングをしっかりと構築して、的確な政策展開を進めていきたいと思っています。

貴協会並びに会員の皆様のご活躍とご発展を祈念申し上げます。最後に、よく講演などで紹介する好きな言葉の一つを紹介して、私の挨拶を結びたいと思います。

「私は理論の機能を、荒野を歩くときの杖の役割に喩えたいと思う。それは、つまづく危険を減らす、歩行そのものは脚でやるしかない」

『土質力学の父 カール・フォン・テルツァーギの生涯』地盤工学会出版

北海道港湾空港建設協会 第30回通常総会開催

 R_{H13}/H_0' b/H_0'

当協会の第30回通常総会は、平成27年4月16日（木）ホテル札幌ガーデンパレスで開催した。全会員数80社のうち76社に出席をいただき、平成26年度の事業報告・収支決算および監査報告、平成27年度の事業計画（案）・収支予算（案）、についていずれも原案どおり承認された。

また、役員の補充についても報告。新副会長に金子功氏が選任されたほか、理事3人が新たに就任した。

総会終了後には、当協会設立30周年記念講演会を開き、運輸省技術総括審議官、(社)日本港湾協会会長、(社)土木学会会長などを務めた栢原英郎氏による『イギリスの遊歩栈橋—地方創生の「たね」—』と題してご講演をいただいた。



通常総会

冒頭、あいさつに立った宮崎英樹会長は、道内の厳しい経済状況を踏まえ「地方創生、経済再生には港湾、空港の強化が必要」と強調。「関係予算が計画的かつ安定的に確保されることが望ましい」と訴えた。「港湾空港建設業としての社会的重要性を認識し、期待される役割を果たさなければ」と述べ、会員の協力を求めた。

来賓あいさつでは、国土交通省北海道開発局笹島隆彦港湾空港部長が「地域の声に応えられるように」とし、引き続き予算確保に尽力する考えを説明。大規模なプロジェクトに向け、準備を進めていることも示した。



宮崎会長



笹島港湾空港部長

日本港湾空港建設協会連合会の川嶋康宏会長は、当協会が設立30周年を迎えたことをたたえ、「40周年にも元気で喜び合える協会で」と期待。会員企業が元気であり続けるため、会員一人ひとりにも声を上げていくよう求めた。



川嶋会長

平成27年度 事業計画

1. 講習会等

1) 安全管理講習会の開催

港関係7団体の共催で安全管理講習会を開催する。

2) 港湾空港工事報告会の開催

港湾空港建設技術の開発、向上を目的とし、会員が施工した港湾、漁港、空港工事について、施工管理、品質管理等に関する報告会を開催する。

3) シンポジウム等への参画

港湾空港建設技術を開発、向上させ、港湾空港建

設業の社会的地位の向上と健全な発展を図るとともに港湾空港整備の促進に寄与するため、関係行政機関、関係団体と連携してシンポジウム等の事業に参画する。

2. 要望及び意見交換

1) 北海道開発局等に対し港湾空港関係予算及び実施に関する要望及び意見交換を実施する。

①港関係7団体の共催で要望・意見交換会を開催する。

②日本港湾空港建設協会連合会との共催で要望・意見交換会を開催する。

2) 北海道港湾振興団体連合会の一員として港湾整備促進及び利用振興活動に参画する。

3. 調査研究

港湾空港建設技術の開発、向上に関する調査研究及び資料の収集並びにその他工事の施工等に関する事項について調査検討を行う。

4. 会報の発刊

港湾空港建設業の社会的地位の向上に関する宣伝及び啓発等を目的として会報誌「北のみなと」を3号程度編集し発刊する。

5. 日本港湾空港建設協会連合会の事業参加

日本港湾空港建設協会連合会が開催する会議等に参加する。

(記事は、「北海道通信」から一部抜粋して掲載しました)

記念講演会

イギリスの遊歩桟橋—地方創生の「たね」—

(講演会資料から抜粋)

1. イギリスにはたくさんの桟橋がある

○桟橋の先端を見ると東屋(ティールーム)・展望台・大劇場・複合施設・遊園地・つり桟橋・ラウンジ・レストランなどがある。



講演会

- 棧橋なのに係船施設はまれである。
- 棧橋は「海の上を歩く」「潮風に当たる」「海を眺め、振り返って（我が）街をながめる」

2. イギリス人の海辺への関心（棧橋の歴史）

- 健康志向
1700年代中ごろ、医者の方箋として「海水浴」が勧められたことが拍車をかけた。
- 棧橋の登場
1800年代初頭、海岸保養地に「棧橋」が登場。ブームとなり最盛期108基に及ぶ。現存は58基。

3. 現在の棧橋

- 3-1 位置づけ
 - 海岸保養地の海沿いのみち「エスプラナード」の一部、同時に一つのポイント。
 - 海浜のアクセント（座標軸）
 - 海辺の街づくりの拠点装置
- 3-2 利用のされ方
 - 歩く・眺める・のんびりと時を過ごす・語り合う・お茶の時間を過ごす。



栢原講師

4. 構造

基本的なタイプは鋼管による棧橋。一部にRCや鋳鉄製のものもある。

ほとんどの棧橋はボードウオークで、壊れては直す方式。

独立したものが大部分だが、一部には既存の防波堤の上部に設置したものもある。

5. 安全の確保

徹底的に自己責任の方針。わが国で実施すれば、最小限の安全装置が必要。

平成26年度 安全管理講習会

R_{H13}/H_0'

b/H_0'

日時 平成27年2月26日（木）9：30～12：00

場所 ホテル札幌ガーデンパレス

主催 北海道港湾空港建設協会（一社）北海道建設業協会港湾・漁港部会
（一社）日本埋立浚渫協会北海道支部（一社）日本海上起重技術協会北海道支部
全国浚渫業協会北海道支部（一社）全日本漁港建設協会北海道支部
（一社）日本潜水協会札幌支部



港湾関係7団体が 安全管理講習会開く 150人参加し研鑽積む 健康面含めた安全対策学ぶ

北海道港湾空港建設協会（宮崎英樹会長）、（一社）北海道建設業協会港湾・漁港部会（藤田幸洋会長）など道内の港湾関係七団体は2月26日ホテル札幌ガーデンパレスで二十六年度安全管理講習会を開催した。各団体の

会員企業ら約百五十人が参加。港湾工事における安全対策を確認するとともに、健康面も含めた安全衛生管理のポイントを学んだ。



宮崎会長の挨拶

両協会のほか、(一社)日本埋立浚渫協会北海道支部、(一社)日本海上起重技術協会北海道支部、全国浚渫業協会北海道支部、(一社)全日本漁港建設協会北海道支部、(一社)日本潜水協会札幌支部の主催。七団体を代表してあいさつに立った北海道港湾空港建設協会の宮崎英樹会長は、「厳しい経営環境が続いているが、品質や安全



工藤建設第2係長



息才安全専門官

の確保は重要」と指摘し、「講習会を通じて、さらなる労働災害の防止につなげていただきたい」と述べた。

このあと、北海道開発局港湾空港部港湾建設課の工藤博文建設第二係長が「港湾工事の安全対策」、北海道労働局労働基準部安全課の息才正地方産業安全専門官が「建設工事における労働災害防止」について講演。

工藤係長は、同局発注工事における災害事例をもとに原因と再発防止対策を示し、事故防止への取組を紹介した。



保健師 俵優美氏

特別講演では、全国健康保険協会北海道支部で保健師を務める俵優美氏が「心の健康」と題して、講演し健康管理、ストレス解消方法、ストレスと上手に付き合う方法等ポイントを説明した。また、お話の中で、企業が行う社員の心の健康対策として、社員50人以上の会社では年1回、心理的な負担の程度を測るストレスチェックの義務化が始まり。ストレスの状況を把握し不調を未然に予防することなどが目的ですが、課題も多いですと説明された。

平成26年度 港湾空港工事報告会

R_{H13}/H₀'b/H₀'

日 時 平成27年2月26日（木）
場 所 ホテル札幌ガーデンパレス
主 催 北海道港湾空港建設協会

平成27年2月26日（木）ホテル札幌ガーデンパレスにおいて、当協会主催の「平成26年度港湾空港工事報告会」を開催した。報告のあった3件の工事は、当協会技術委員会が平成25年度に完成した工事の中から、工程管理などに優れ、工事成績評価点の高い工事を対象に選定している。



第28回港湾空港工事報告会

主催者挨拶



主催者挨拶 宮崎会長

後の工事の参考にさせていただきたい」と挨拶し、この場で学んだことが現場で生かされるよう期待を寄せた。

開催にあたり主催者を代表して宮崎英樹会長は「社会資本の整備に我々は大いに力を発揮してきた。今後も社会資本の整備や災害時における港湾業者への期待に応えるには、技術力の向上は不可欠である。今日の報告を今

来賓挨拶



来賓挨拶 伊藤港湾建設課長

るとともに、各工事の概要と表彰された推薦理由について説明があった。

続いて北海道開発局港湾空港部 港湾建設課 伊藤晃課長から挨拶をいただきました。

伊藤課長は「今回報告される3件の工事は、平成26年度北海道開発局優良工事表彰を受賞した他の模範になる工事である」と述べ

工 事 報 告

報告工事は、(株)高木組施工の「函館港北ふ頭地区－6.5m岸壁船尾部建設工事」、(株)中田組施工の「鴛泊港－6.0m岸壁改良その他工事」、菱中建設(株)施工の「苫小牧港西工区岸壁－9m改良埋立工事」の3件で、各工事担当者から工程管理、厳しい施行条件への対応、関係機関との調整、安全管理などの課題と課題解決に向けた現場での取組が報告された。

防砂シート	739㎡
防砂目地版	36m
附属工	
係船柱取付	2基
車止め取付	19m
縁金物取付	10m
梯子取付	1基
防護柵取付	34m
仮設工	1式

●函館港北ふ頭地区－6.5m岸壁船尾部建設工事



株式会社 高木組
工事長

三好 秀明 氏

- ・請負者 株式会社 高木組
- ・工 期 平成25年3月26日～11月18日
- ・発注者 函館開発建設部
- ・工事内容

岸壁（－6.5m）（耐震）

床掘工

床掘（グラブ）	10,120㎡
床掘（バックホー）	276㎡

基礎工

基礎捨石	3,512㎡
本均し	803㎡
荒均し	1,198㎡

本体工（ケーソン式）

ケーソン据付	4 函
中詰め（浚渫土）	2,336㎡
均し	335㎡
蓋コンクリート	121㎡

本体工（場所打式）

水中コンクリート	1,097㎡
----------	--------

上部工

上部コンクリート	165㎡
----------	------

裏込工

裏込材投入	2,730㎡
裏込均し	416㎡

●鴛泊港－6.0m岸壁改良その他工事



株式会社 中田組
工事長

松川 和宏 氏

- ・請負者 株式会社 中田組
- ・工 期 平成25年3月27日～平成26年2月28日
- ・発注者 稚内開発建設部
- ・工事内容

岸壁（－6.5m）改良

構造物撤去工

コンクリート取壊し	389㎡
車止・防護柵撤去	1式
再生クラッシャーラン	1,126㎡

土工

土砂掘削	1,748㎡
------	--------

本体工

水中コンクリート	391㎡
----------	------

被覆・根固工

1tピーハイブ据付	24個
-----------	-----

上部工

上部コンクリート	405㎡
----------	------

裏込・裏埋工

雑割石投入	457㎡
土砂盛土	910㎡

舗装工

コンクリート舗装	3,114㎡
コンクリート景観舗装	1,136㎡

附属工

係船柱取付	10基
防舷材取付	17基
梯子取付	2基
車止・縁金物取付	1式
防護柵設置	1式
照明灯設置	6基

土砂改良（陸上部）	305m ³
仮設工 作業用道路	1式

●苫小牧港西港区岸壁－9m改良埋立工事



菱中建設 株式会社
工事長
高沢 治彦 氏

- ・請負者 菱中建設株式会社
- ・工期 平成25年9月5日～平成26年3月28日
- ・発注者 室蘭開発建設部
- ・工事内容

岸壁西－9m改良

撤去工

構造物取壊し（鉄筋）	641m ³
構造物取壊し（無筋）	939m ³
骨材再生工	1,580m ³
アスファルト舗装撤去	1,761m ²
鋼矢板撤去	210枚
タイロッド撤去	52組
腹起材撤去	85m
防舷材撤去	21基
給水管撤去	213m
照明灯撤去	1式

本体工

鋼管矢板

腹起材取付	84m
タイワイヤー取付	40m

鋼管杭

鋼管杭打設	40本
腹起材取付	84m

土工

土砂掘削	17,297m ³
------	----------------------

埋立工

土砂改良（水中部）	12,401m ³
-----------	----------------------

特別講演



寒地土木研究所 三上 上席研究員

特別講演は、寒地土木研究所寒地水圏研究グループ水産土木チームの三上信雄上席研究員が、「漁港施設のストックマネジメントについて」と水産土木チームの研究概要」と題し講演した。

記念品贈呈



記念品贈呈

工事報告・特別講演終了後、工事報告者3名に技術委員会 中村弘之部会長から記念品が贈呈されました。

講 評



講評 宮本副委員長

最後に技術委員会 宮本義憲副委員長から、報告のあった各工事についての感想と報告いただいた3名へのお礼を述べ工事報告会を終了した。

我が社の安全衛生管理

株式会社 山田組 安全管理部長 阿曾 清

1. はじめに

当社は、大正5年創業以来、港湾・空港・漁港、道路、河川、トンネルなど公共土木工事を主体とする総合建設業者として事業展開を図り、今年で99年を迎えます。

経営理念『株式会社山田組は、地域社会に貢献する企業としての責務を完遂し、全てのお客様と、全ての協力者と、全ての社員が、永続的に繁栄する事を目指し、誠実信用を財産に活動致します』を掲げ常に時代を先取りした技術の向上と組織体制の充実に努めております。

安全衛生管理活動は、予防処置の実践と安全で衛生的な環境を維持することを基本として、無事故無災害に向け取り組んでおります。

2. 安全衛生基本方針

本社安全方針の年間スローガンとして、「全員で安全衛生意識を高揚し不安全行動を撲滅、安全で快適な職場環境を形成」また、年間目標「労働災害ゼロ・交通災害ゼロ」をもとに、安全重点項目を「三大災害、交通災害の徹底した安全管理」、「安全自主管理意識の高揚」として、予防処置の実践により無事故無災害を維持していくために、積極的な安全衛生管理活動を展開しております。

3. 安全衛生管理計画

安全衛生管理体制を根幹とする安全衛生委員会において、年度末の3月に安全衛生管理計画に基づく活動の総合評価を行い、具体的実施事項・留意点等の補強改善を行い、次年度の計画に反映させ、安全衛生管理計画の強化向上を図っております。



三月安全衛生委員会

4. 安全衛生管理活動

(1) 安全大会

年度初め、4月1日に本社神前にて、全社員参加の安全祈願祭を行い、会場を移して安全大会を開催しております。

大会では社長訓示、年度安全衛生管理計



安全大会 社長訓示

画の説明、前年度工事の安全優秀者表彰及び表彰者による安全衛生の取組の発表、協力会社の安全表彰、DVDによる安全教育等を行い、安全衛生意識の向上を図っております。

(2) 安全研修会

工事の着工期を前に、技術職員、協力会社の職長以上を対象として、総括安全衛生管理者による年度の安全留意事項、外部講師による安全講話、DVDによる安全教育を行い、安全意識の高揚に努めております。



安全研修会

(3) 安全衛生委員による現場パトロール

毎年、「全国安全週間」・「全国労働衛生週間」には全社員に社長メッセージを配信し、安全衛生委員による現場のパトロールを実施し、作業所における重点実施事項の履行確認及び安全管理書類の点検を行い、当該月末の安全衛生委員会で全作業所の総合評価、指摘事項の改善点等を取りまとめて全作業所に配信して周知させ、安全に関する啓蒙活動に活用しております。



安全衛生委員会による現場パトロール



(4) 安全管理部による現場パトロール

毎月1回以上、安全管理部を主体に現場パトロールを点検表をもとに実施しております。総評、指摘事項、評価点を記載して作業所に提出するとともに、「安全衛生巡回報告書」を安全衛生委員会に提出して、作業所の安全環境把握と、より安全な環境に向け組織的に取り組んでおります。指摘事項においては、「指摘事項改善報告書」による確認、及び現地で履行確認を行っております。

また、評価点は社内安全表彰の選考要素としています。



安全管理部による安全パトロール

(5) 現場へのサポート体制

工事着手前に、各部門長を交えた施行検討会議を開催し、安全管理に関しては、安全衛生法、安全衛生規則に基づいた指導を行っております。また、作業所には安全衛生法・安全衛生規則等の改正資料、労働基準監督署による臨検の指摘情報、各安全週間の資料、事故災害事例、DVD教材等の提供等を行っております。

(6) 災害防止協議会の実施

作業所ごとに毎月一回、現場の統括安全衛生責任者、本社の安全管理者、協力会社の責任者の参画する災害防止協議会を開催して、当月の安全管理計画及び安全重点目標等を協議した後に、現場パトロールを行い、翌月に安全重点目標の達成状況及び指摘事項改善の報告等を行い元請、協力会社が一体となり活動を実施しております。欠席会員には資料、議事録を配布し周知の徹底を図っております。



災害防止協議会

(7) 安全教育の実施

作業所ごとに毎月一回、全労働者を対象に月間工程の説明と災害防止協議会により取りきめた安全重点目標等の周知と、DVDによる安全教育を実施するとともに、工事繁忙期には、建設業災害防止協会の外部講師を招き6時間の安全教育を作業所単位で実施しております。また、新規入場者教育は現場特性を取入れた内容とし、協力業者には送出し教育の実施を奨励し、労働災害防止に努めております。

(8) 安全朝礼の実施

当日の作業内容、安全指示事項の伝達やヒヤリハット報告の対策、周知等を行い、各班に分かれリスクKY活動、安全コールを行い安全意識を高めて作業に入ります。



安全朝礼

5. むすびに

「人はミスをする」、「機械は故障する」、「絶対安全は存在しない」を充分認識し、予防処置方策と実践を元請職員を含め工事に携わる全員に浸透させ、不安全設備や不安全行動には、声を掛ける勇気と親切さを地道に継続することが『絶対安全』に限りなく近づくものとして努力してまいります。

私の趣味

『音楽』と『山楽』

近藤工業(株)

佐藤 慶一

「これが私の趣味！」と胸を張って自慢できるようなものではありませんが、思い出話めいた雑感的なお話を記させていただくことにしたいと思います。

1. 音楽を楽しむ

音楽はジャンルに関係なく、気に入った曲を聴いたり、たまにはコンサートへも出かけて、生演奏を楽しんだりしています。

また、聴くだけではなく、実際に楽器を演奏することにも昔から興味があり、中学時代はブラスバンドで吹奏楽器類、高校時代は軽音楽バンドでギターやシンセサイザーなどの楽器を体験しました。中でもピアノについては現在まで続いているものです。

叔母がピアノ教師をしていたこともあり、小学生の頃よりピアノ教室に通っていました。当時はバイエルやツェルニーといった練習用の曲ばかりで、とてもつまらなかったのですが、順番待ちの間、教室の女の子たちと話をすることが楽しみで通っていたような不真面目な生徒でした。当然ながら一向に上達する気配もなく、中学の途中で教室へ通うことはやめてしまいました。

ちょうどその頃、「ある愛の詩」という映画が流行り、そのテーマ曲も大変人気がありました。その曲をピアノ用に易しくアレンジした楽譜で何とか弾けた時、初めてポピュラー曲の面白さを知りました。また、ピアノは楽器の王様とも言われますが、オーケストラの曲をピアノで弾けるという事にもたいへん感動したことを覚えています。それからは、自分

のレベルで弾けるような気に入った曲を、まったくの我流で適当に楽しんできました。

数年前に知人宅で飲み会があった



かなり出来上がりながら…

際、そこでピアノをいたずらに弾いたのが縁で、それ以来時々、宴席などでの余興として素人演奏を聴いてもらうことがあります。ただこちらも酔ってくると、五線譜が六線譜になったり、指が千鳥指になったりで散々ですが・・・

最近、50半ばの手習いでジャズピアノを習い始めました。レッスンを受けるのは中学以来のことで、久しぶりの緊張感ですが、リズム感の無さをあらためて痛感しています。それでも少しは上手になりたく、家族からは「聞き飽きた」と文句を言われながらも、練習に励んでいる今日この頃です。



ちょっと緊張しながら…



残雪残る塩谷丸山から



アポイ岳にて

2. 山を楽しむ

14～15年前から、山登りというよりは山歩きを始めました。山歩きの楽しみは、森林浴や、頂上からの眺め、下山後の温泉めぐりなどいろいろとありますが、やはり頂上で飲むビールの美味しさは格別だと思います。5月の連休近くには、まだ残雪残る地元、小樽の塩谷丸山を登り、素晴らしい眺めと美味しいビールを楽しんだりしています。

このような山歩き程度で十分に満足している私ですが、実は、今や世界遺産となった富士山に一度だけ登ったことがあります。

20年程前、以前勤めていた会社の東京勤務時代に、職場の仲間で「今週末、富士山に登ろう」という話になりました。それまでたいした登山経験もなく、本格的な登山道具もありませんでしたが、「途中まで車で行けるから大丈夫」、「それじゃ」という軽いノリで行くことになりました。

まだ辺りが暗い早朝に友人宅に集合し、富士山に向けて出発。確かに5合目までは車で行けました。しかし、全然「大丈夫」ではなかった。ただひたすら登るだけ。空気も徐々に薄くなり、頭がボーッとしてくる。途中、友人のひとりが酸欠状態となり、山小屋で携帯酸素のお世話になる羽目にも。登っていくうちに、軽い気持ちで始めたことへの後悔が募りつつも、今さら後へも引けないジレンマが続き、

やっとの思いで頂上に着いた頃には頭痛も発症。すぐにも下山したいくらいでしたが、ここまで来た以上はやはりお約束のお鉢巡りもしなくては。その後、やっと下山ということでホッとしたのも束の間、今度は下山の辛さ・難しさを知ることに。膝にかなりの負担・重力を感じながら、運動シューズで滑りそうになるのを我慢し、踏ん張りながらの下山。周りの景色を楽しむ余裕などありませんでした。帰路の車中で夕暮れに染まる富士山を見た時にやっと、富士山に登ったという達成感を感じた次第です。

しかし、今、富士山に登った時の写真は手元に残っていません。当時はデジカメや携帯電話などがあまり普及していない時でしたが、カメラくらいは誰か持ってくるだろうと思ったのが間違いで、誰もカメラを持参せず、記念写真もなく、富士山に登ったという事実は関係者の記憶にしか残っていません。ただひとつ、登った時にお世話になった金剛杖が手元に残っているだけです。ということで、金剛杖の写真しかお見せできず失礼しました。



富士登山唯一の記念品

函館港彩る真冬の大輪

函館の真冬の夜空を彩る「函館海上冬花火」が2月11日夜、函館港で開催された。

冬の観光を盛り上げようと昨年から実施。開催日数を昨年の2日から5日に拡大され、連日2千発を豊川ふ頭沖に浮かべた台船から打ち上げられた。

11日夜の気温は氷点下1.5度。約15分間にわたって大輪の花が咲くと、港沿いの観光名所、赤レンガ倉庫群の近くなどに詰め掛けた観光客や市民が、白い息とともに歓声を上げていた。

(記事は北海道新聞から抜粋して掲載しました)



ライトアップやイルミネーションで彩られた港の夜空に大輪が咲く函館海上冬花火

風のまち苫前で北海道凧あげ大会を開催

風のまち苫前町の風物詩「第23回北海道凧あげ大会・第42回町凧あげ大会」が2月22日、苫前漁港の高台にある「とままえ温泉ふわと」横の会場で開かれ、大小151の手作りのたこが天空を舞った。

道内からは、苫前町内や留萌、羽幌、猿払、美深、道外からは友好都市の三重県桑名市などから約280人が参加。小学1・2年から高校・一般、大だこ、連だこなどの8部門で、揚げり具合やデザインを競った。

参加者は屋内でデザイン審査を受けた後、青空が広がる屋外で次々とたこを揚げた。低度な風が吹く絶好のコンディションで、えとの羊やアニメのキャラクター、自分の似顔絵などを描いた多彩なたこが勢いよく空に舞い上がった。

留萌市の建設会社三社が共同製作した大だこで、昨年に引き続き挑戦した。数度の凧あげ挑戦でようやく舞い上がったものの、残念ながらバランスを崩し地上に落下、破損してしまった。参加した建設会社三社は、この経験

を参考に来年こそ長時間空に舞い上がる大だこを完成させることを誓っていた。

(記事は日刊留萌新聞から抜粋して掲載しました)



建設会社三社の凧あげメンバー



北海道凧あげ大会

50回目を迎えた 「あばしりオホーツク流氷まつり」が開催

半世紀の節目を迎えた「第50回あばしりオホーツク流氷まつり」が、2月7日～11日に掛けて網走商港ふ頭（港町）を会場に開催された。5日間を通しての来場者数は12万5千人で、7年ぶりに10万人を超え、昨年に比べて3万6千人が増えた。

好調の要因として、網走市観光課は、50周年記念とし

て初めて実施された雪像に映像を投影する「プロジェクションマッピング」や5年ぶりに行われた「流氷花火」により、インターネットや口コミで評判が広がり、日没後も多くの市民、旅行者が訪れ、また土、日曜日と祝日が好天に恵まれたことも人出を後押ししたと分析している。
（記事は北海道新聞から抜粋して掲載しました）



メイン雪像「モヨロの民」



天候にも恵まれ大賑わい



開催回数に合わせた大小50基の冰雪像

もんべつ流氷まつり

輝く氷像、弾ける笑顔もんべつ流氷まつり青空のもとスタート

紋別の冬を彩る最大のイベント、第53回もんべつ流氷まつりが2月7日、すがすがしい青空のもと開幕した。

海洋交流館駐車場の特設会場にはメイン氷像「タイのチャクリー・マハー・プラサート宮殿」をはじめ大中小32基氷像が完成。太陽の光を浴びてキラキラと輝き、訪れた観光客や市民らも笑顔を弾けさせた。まつりは平日

2日間を挟んで11日（水・祝）まで5日間のロングラン。

お笑い芸人のダンディ坂野とヒロ青山が出演する8日午前11時15分からのオホーツクホワイトステージは人出のピークになる賑わいを見せた。

（記事は北海民友新聞から抜粋して掲載しました）



滑り台は子供たちの遊びの定番



氷柱だきつき耐久レース



氷像群



もんべつ流氷まつり開催



イルミネーション点灯式



イルミネーション点灯

釧路港に「フォーレンドム」寄港

アメリカの船会社が運行する大型クルーズ船「フォーレンドム」（6万1,214トン）が5月3日、釧路港東港区耐震旅客船ターミナルに寄港した。

今年1回目の大型客船の来港。約100人の釧路市民が出迎え、文化交流などを行って地元ボランティアらが船から降り立った観光客をもてなした。

「フォーレンドム」はアメリカのホーランド・アメリカラインが運行しているオランダ船籍の豪華客船で全長238メートル、型幅32メートル。乗客1,370人のほとんどが欧米人で、4月27日に神戸を出港し東京、函館を経由してこの日の朝に釧路に寄港した。

釧路港への寄港は2013年から3年連続。岸壁では特設のインフォメーションセンターが開設され、乗客に観光情報マップなどが配布された。同日は標茶高校の生徒28

人が同校ツーリズムプロジェクトの一環でホランティアとして参加。フィッシャーマンズワーフMOO・EGGに設けられた交流サロンと岸壁周辺での観光ガイドの2班に分かれた。交流サロンでは折り紙ブースなど補助や、英語ゼミで実施している「これまでの旅行でどこが一番楽しかったか」などのアンケート調査を実施した。また、女子生徒3人が着物を着て、観光客からの写真撮影に応じ、男子生徒は空手の型を披露するなどした。

同船は夕方には釧路港を出港。アメリカ、アラスカ州のコディアック、シトカを経てカナダのバンクーバーを目指す。

釧路港には今年、同船を含めて8隻の大型客船が寄港する予定。

（記事は釧路新聞から抜粋して掲載しました）



釧路港東港区耐震旅客船ターミナルに接岸した「フォーレンドム」



観光マップを配付する釧路市民



接岸した「フォーレンドム」



「フォーレンドム」と一緒に記念撮影（写真は釧路開発建設部提供）

釧路港に「にっぽん丸」寄港

商船三井客船が運航する大型クルーズ船「にっぽん丸」（2万2,472トン）が5月4日、釧路港東港区耐震旅客船ターミナルに寄港した。

前日寄港のフォーレンドムに続き今年2回目の大型客船の寄港で約80人の釧路市民が出迎え、地元ボランティアらが来釧した観光客をもてなした。

「にっぽん丸」は全長166メートル、型幅24メートル、乗客約400人で4月25日に横浜を出港し神戸、屋久島、大湊など7カ所を経由して、この日の午前9時に釧路に寄港した。

釧路港への寄港は2009年、14年に続いて3回目。夕方に出港し、6日の午前10時に最終地の横浜に到着。岸壁では特設のインフォメーションセンターが開設され、乗客に観光情報マップなどが配布された。

乗客の女性は「このツアーは天気恵まれて雨は今日だけ。芸術館や市立美術館を楽しみたい」と話していた。次の大型客船の寄港予定は7月にダイヤモンド・プリンセスを予定している。

（記事は釧路新聞から抜粋して掲載しました）



釧路港東港区耐震旅客船ターミナルに接岸した「にっぽん丸」



接岸した「にっぽん丸」



乗船客を案内する釧路市民（写真は釧路開発建設部提供）

古平漁港水産物衛生管理施設が完成

— 屋根付き岸壁など最新 3 施設が本格稼働 —

小樽開発建設部と古平町、東しゃこたん漁業協同組合が共同で整備した古平漁港－3.5m岸壁の衛生管理施設が完成し、2月26日に落成式を開いた。関係者ら45人が集まり、工事の完了と町内における漁業の新しい門出を祝った。

古平漁港はスケトウダラ、ホッケなどを中心に道内日本海側で最大の水揚量を誇る漁港であるが、施設が古く、また、直射日光や風雨・風雪の中での作業による漁獲物の鮮度、品質低下が懸念されていた。

そのため、衛生管理施設を同一ふ頭に集約することで、より一層、円滑で効率的な水産物の鮮度保持、衛生管理

体制を図ることとし、平成25年4月に事業がスタートした。平成26年の3月に小樽開発建設部が「屋根付き岸壁」を完成させ、同時期に古平町が「高度衛生管理荷さばき施設」を移転改築した。そして25日、東しゃこたん漁業協同組合が整備する「製氷・貯氷施設」が竣工を迎え、3月1日に全体の供用を開始した。

落成式では、同漁協の杉山賢組合長が関係者への感謝とともに、連携した3施設の活用と今後の漁業の発展への意気込みを示された。

（記事は北海道建設新聞から抜粋して掲載しました）



屋根付き岸壁と荷さばき施設に隣接する製氷・貯氷施設



落成記念式典の様相

◎事務局だより◎

北海道港湾空港建設協会

【常任理事会】

常任理事会を平成27年3月11日（水）京王プラザホテルで開催しました。

議題

1. 日本港湾空港建設協会連合会「運営委員会」の報告について
2. 平成27年度（第30回）通常総会について
3. 平成27年度北海道開発局港湾空港関係功労者表彰候補者について
4. 平成27年度日本港湾空港建設協会連合会通常総会代議員について

【理事会、通常総会の開催】

平成27年4月16日（木）14：10～
ホテル札幌ガーデンパレス

【日本港湾空港建設協会連合会総会の開催】

平成27年5月12日（火）
明治記念館

【広報委員会】

- 1) 平成27年3月3日（火）
広報誌「北のみなと85号」編集について
- 2) 平成27年3月20日（金）
広報誌「北のみなと85号」編集について
- 3) 平成27年5月8日（金）
広報誌「北のみなと85号」編集について
- 4) 平成27年5月15日（金）
広報誌「北のみなと85号」編集について

【安全管理講習会の開催】

平成27年2月26日（木）9：30～
ホテル札幌ガーデンパレス

【港湾空港工事報告会の開催】

平成27年2月26日（木）14：00～
ホテル札幌ガーデンパレス

◎業界だより◎

◎会員代表者の交代

●あおみ建設(株)北海道支店

支店長 長谷川英勝 平成27年4月

●伊藤組土建(株)

代表取締役社長 玉木 勝美 平成27年4月

●(株)大林組札幌支店

常務執行役員支店長 上野 晃 平成27年4月

●五洋建設(株)札幌支店

支店長 櫻井 克之 平成27年4月

●東亜建設工業(株)北海道支店

支店長 金子 功 平成27年4月

●西松建設(株)札幌支店

支店長 東城 幸博 平成27年4月

●(株)不動テトラ北海道支店

支店長 進藤 信博 平成27年4月

●みらい建設工業(株)北海道支店

支店長 工藤 正 平成27年1月

●菱和コンクリート(株)北海道支店

支店長 二階堂正和 平成27年4月

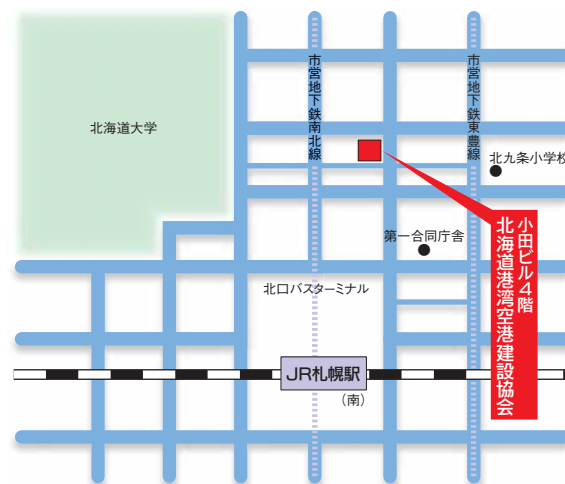
◎広報委員会だより◎

平成27年5月現在の広報委員は次表のとおりです。

委員長	金子 功	東亜建設工業(株)
副委員長	白川 隆司	東洋建設(株)
委員（部会長）	小山 良明	白鳥建設工業(株)
（副部会長）	志賀 保	五洋建設(株)
（副部会長）	東 志郎	萩原建設工業(株)
	大西 治朗	菱中建設(株)
	櫻庭 榮	(株)中田組
	荒井 直人	東亜建設工業(株)
	毛利 照男	釧石工業(株)
	渡辺 修司	(株)菅原組
	大倉 正憲	勇建設(株)



北海道港湾空港建設協会 案内図



会報「北のみなと」No.85

発行年月 平成27年 5 月

発 行 北海道港湾空港建設協会 会長 宮崎 英樹
札幌市北区北9条西3丁目10-1 (小田ビル4階)
TEL (011) 707-4731 FAX (011) 707-4733
<http://www.hokkaido-kkk.jp>
Email: hkkk@h4.dion.ne.jp

編 集 北海道港湾空港建設協会 広報委員会
編集責任者 小山 良明

印 刷 須田製版